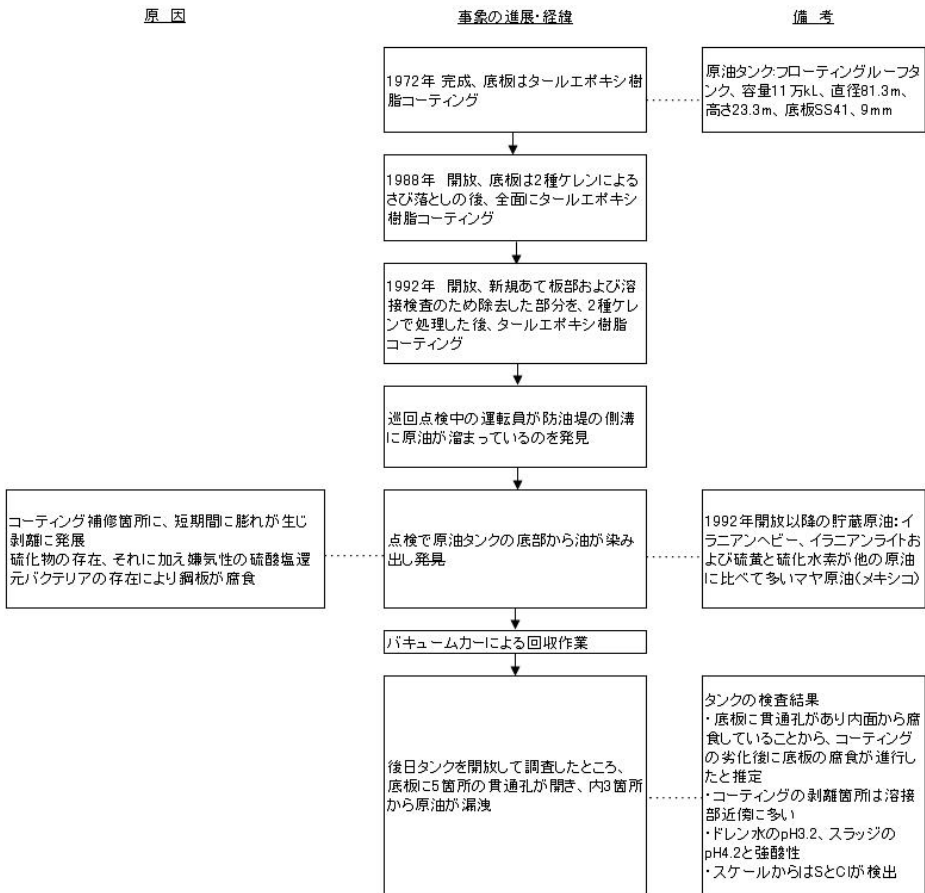




原油タンク底板の腐食により漏洩

事象進展図

00194	原油タンク底板の腐食により漏洩
発災年月日	1997年4月13日
装置	原油タンク
運転状況	原油貯蔵中
特徴	コーティング補修箇所の硫化物の存在による底板腐食・漏洩



- 再発防止策**
1. タンク底部に良好なコーティングを施す(ケレンおよび施工方法の検討)。
 2. 開放検査時コーティングの検査を徹底する。
- 安全専門家コメント**
1. タンクのケレンおよびコーティングの重要性を喚起する貴重な事例である。コーティングがされている原油タンクの底板に腐食孔が開くことは異常である。ケレンやコーティング方法の選択が大事なことはもちろんだが、現場の作業環境、特に換気と照明が不適切ではないかなど、作業をする側にとっての工事の計画・準備も大切と考える。
 2. 「コーティングに関する指針」はこれまでのノウハウを集大成したものが含まれていると考えられる。この指針に準拠した工事の準備、施工を実施していくことが重要であると思う。

引き金事象発生の原因
<ul style="list-style-type: none"> ・コーティングの剥離 ・底部に濃厚な硫化水素水溶液が存在(硫黄と硫化水素が多いマヤ原油の貯蔵)

事故の引き金事象
<ul style="list-style-type: none"> ・底板の腐食

事故に関連した直接・間接要因
<ul style="list-style-type: none"> 《工事・施工要因》 ・工事方法不適切



原油タンク底板の腐食により漏洩

添付資料・参考文献・キーワード

参考資料（文献など）

- ・産業と保安、Vol.14、No.1、P.6-8、1998年
- ・消防庁、特定屋外タンクからの原油漏えい、危険物に係る事故事例 - 平成9年、P.594-595
- ・八木高志、原油タンク底板腐食による漏洩事故、危険物事故事例セミナー資料、危険物保安技術協会、P.2-15、1998年

▶ 添付資料

▶ キーワード(> 同義語)

🔑 タンク > 貯槽

🔑 浮屋根タンク > FRT, フローティングルーフトank, 浮き屋根タンク

🔑 底板

🔑 貯蔵入出荷設備 > オフサイト設備

🔑 貯蔵系

▶ 関連情報